令 和 7 年 度

教育委員会の事務の点検及び評価報告書

―令和6年度の実績―

令和7年 11月

田子町教育委員会

目次

点検及び評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２

点検・評価アドバイザーによる意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ３～６

令和６年度田子町の教育施策の基本方針と重点・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ７
　１　学校教育指導の方針と重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ８～１１
　２　社会教育行政の方針と重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１２
　３　文化財保護行政の方針と重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１３
　４　学校給食の方針と重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１４

事業個別評価の観点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１５

教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表・・・・・・・・　Ｐ１６～１９

事業個別評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２０～６２

教育委員会活動の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ６３～６６
　１　教育委員会委員構成
　２　教育委員会の活動概要
　３　教育委員会会議

◆　点検及び評価の概要

1　経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成１９年法律第９７号）により、平成２０年４月１日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2　点検・評価の対象

田子町教育方針にある教育施策の重点に即して行われた事業

3　点検・評価の方法〈内部評価〉

①事業担当部署による点検及び評価
各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

②教育委員会による点検及び評価
各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4　学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5　点検・評価アドバイザー

氏名	団体・経歴	担当分野
田　中　重　明　氏	元青森県立田子高等学校教諭	学校教育及び学校給食
千 葉 ケ イ 子 氏	元田子町教育委員会教育課スポーツ・社会教育グループ総括主幹	社会教育及び文化財保護

6　点検・評価アドバイザー会議の開催状況

・第１回会議　令和７年１０月２日（木）開催
・第２回会議　令和７年１０月１５日（水）開催

7　事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取組方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかしていくものです。事務事業の企画立案（Ｐｌａｎ）、事業実施（Ｄｏ）、点検・評価（Ｃｈｅｃｋ）、改革・改善（Ａｃｔｉｏｎ）を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

◆　点検・評価アドバイザーによる意見

令和６年度事業の「点検・評価アドバイザー会議」は２回にわたって開催し、田子町教育委員会が管理・執行した事務の進捗状況について点検・評価を行いました。

評価対象の事務は、「田子町の教育施策の基本方針と重点」に基づいた事業で、担当者から「事業個別評価表」の事業の概要、実績、成果、評価と方向性等について、企画立案、事業実施、点検・評価、改革・改善の考え方に沿って説明し、その報告をもとに協議を行い、総評として、両アドバイザーから次のようなご意見をいただきました。

１　学校教育指導及び学校給食について

新型コロナウイルスの影響が緩和され、教育現場においても通常の活動が再開されています。子どもたちが直接人と出会い、共に活動し、交流を深めることは、心身の成長にとって欠かすことのできない貴重な体験であり、教育の本質であると感じております。また、担当の方による丁寧な説明を通じて、町の教育関係者をはじめ、多くの皆様の温かいご支援のもと、子どもたちの学びが着実に深まり、郷土への愛着が育まれている様子を知ることができ、大変心強く思いました。令和６年度における事業につきまして、以下に感想と今後への希望を述べさせていただきます。

① 事業名[2]学びのアドバイザー配置事業

多様な適性や能力を持つ児童・生徒に対応するために、学習指導の支援を受けられることは、先生と生徒の双方にとって非常にありがたいことです。通常の授業に加え、小学生には「たっこ塾」による学校休業中のサポート、中学生には英検対策や受験指導など、児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた学びを提供できることは、理解を深めるだけでなく、学力の向上や自己肯定感の育成にもつながります。未来を担う子どもたちのために、こうした取り組みが今後も継続されることを心より願っています。

② 事業名[8]奨学資金事業、[15]高校入学祝い金支給事業、[16]高校修学継続支援給付金支給事業

地元に高校がなくなったことで、進学を希望する生徒の保護者には、経済的な負担が大きくのしかかっています。学ぶ意欲のある子どもたちを応援するためにも、これらの事業は欠かせない取り組みです。希望すれば誰もが大学まで進学できるという安心感を持って、子どもたちには前向きに進路を選択してほしいものです。経済的な理由で進学をあきらめざるを得ない子どもが一人も出ないよう、事業の継続を望みます。

③ 事業名[9]特別支援教育

「誰一人取り残すことのない教育」の実現は、私たちが目指すべき目標です。中でも、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、個々の状況に応じた、より丁寧で細やかな指導が不可欠です。こうした対応は、通常学級での指導以上に多くの時間と専門的な配慮を要するため、十分な人的体制の確保が前提となります。そのため、特別支援教育の充実には、現場の実情に即した支援が欠かせません。すべての子供たちが安心して学び、自らの可能性を伸ばしていける環境づくりのために、今後も継続的かつ実効性のある支援をお願いします。

④ 事業名[11]中学生海外派遣事業

田子町は、国際交流を礎とする町です。私が田子高校に在職していた当時、高校生の生徒派遣事業が始まりました。私も２回ギルロイ市を訪問する機会を得ました。それ以来、３０年以上にわたり姉妹都市との交流が継続されていることは、町の誇りと言えます。コロナ禍を経て５年ぶりに派遣が再開されことをお聞きし、喜ばしく思います。グローバル化が進む現代において、国際的な視野を備えた若者を育成することは、極めて意義深い取り組みです。海外での体験は、英語学習への動機づけのみならず、異文化理解を深める貴重な機会にもなります。そしてそれは、地域に根ざしながらも、世界へと羽ばたく人材の育成へとつながっていきます。実施に際しては、働き方改革の点からも、引率者等一部の人に過度の負担がかからないように配慮していただきながら、事業を推進していただきたいと思います。今後も、より多くの子どもたちが参加できるよう、自己負担の軽減を図るための補助金制度の継続をお願いします。

⑤ 事業名[13]語学検定等支援事業

近年、検定料の高騰により、受験のハードルが高くなっているのが現状です。そのような中、検定料の補助によって生徒が検定試験に挑戦できる環境が整うことは、非常に魅力的で意義深い取り組みです。私自身、日頃英検指導に携わっていますが、検定はまず「受験すること」が何より重要です。受けなければ合格はありません。目標とする級に到達するまで、継続して挑戦し続ける姿勢が大切です。また、検定試験は段階的に上位級を目指せる仕組みとなっており、目標を持ちながら学習を進めていくことが期待できます。学力向上への良い刺激となり、子どもたちの学ぶ意欲を高める効果も期待できます。補助の継続をお願いします。

⑥ 事業名[14]公営塾実施事業

地域には民間の学習塾が少ないため、公営塾により受験対策の機会が得られることは、子どもたちや保護者にとって非常にありがたいことです。可能であれば、受講期間をもう少し延長できれば理想的です。また、ＩＣＴ学習は、これからの時代を生きる子どもたちにとって欠かせない要素です。プログラミングを学ぶことで、パソコンを活用した課題解決能力が養われます。その基礎を小学生の段階から身につけることは、非常に重要です。一方で、参加人数が前年度より減少している点が懸念されます。生徒や保護者へのさらなる広報活動が必要です。中学１年生にも参加の機会が与えられれば参加者も増えるのではないでしょうか。また、先輩の高校生、大学生や社会人に来てもらい、学校生活や仕事の様子などを中学生に語ってもらったり、学習の手伝いをしてもらうことも、子どもたちの学習意欲の向上につながると思います。事業の継続とともに、参加意欲を高める取り組みをお願いします。

⑦ 事業名[42]給食センター調理等委託事業

現在、給食が無料で提供されていることにより、保護者の経済的負担が軽減されており、大変望ましい取り組みだと感じています。食材の高騰に対しては、県からの補助があると伺い、安心いたしました。今後も、子どもたちの健やかな成長を支えるため、栄養面での継続

的なご支援をお願いします。

最後に、学校の部活動を地域へと段階的に移行していくことが、現在の重要な課題となっています。教員の負担を軽減し、教科指導や生徒との関わりに十分な時間を確保するためにも、地域のスポーツ団体や、ボランティアとして指導に携わる意欲と資質を持つ人材との連携を深め、部活動指導の支援体制の構築が求められています。今後の方向性を見据えた話し合いを通して、関係者が力を合わせ、地域と学校がともに歩む新たな部活動のあり方を見いだしていけることを願っています。都市部にはない、この地域の濃密な人間関係のつながりを生かした、きめ細やかな教育の実現に向けた取り組みをお願いいたします。

２　社会教育行政について

令和６年度の各事業は新規１事業、他は継続事業でした。６年度のほとんどの事業は、これまでのコロナ禍の影響で制約されていた内容の事業を見直し、町民のニーズに応えるよう創意工夫し継続できたことを讃えたいと思います。事業のひとつであるキャンピングワールドは、日帰り体験を宿泊可能に見直したことも大変活動の場が広がり、色々な経験ができたことは子ども達の成長につながったと思います。

今後においても事業に関わる町民のニーズを把握し、さらに継続事業であっても常に見直しと改善の必要性を念頭に置きながら、進めていただきたいと思います。

本年度は、下記の事業について所見を述べさせていただきます。

① 事業名[25]田子町こども会育成連絡協議会への支援事業

子ども会の主な目的は、遊びを中心とした異年齢集団活動を通じて、子どもの心身の発達を促し「生きる力」を育むことです。具体的には、仲間づくりや協調性、社会性、創造性を養い、地域社会とのつながりを深め、地域で子どもを育む機会を提供します。近年は近所の子ども同士で遊ぶ機会や、年上の子と話す機会が減り、地域で遊ぶ子どもの姿を見かけることが減ったと感じています。子ども会は学校や家庭では得られない地域社会とのつながり、異年齢活動で友人を得られると思います。評価と方向性にもありますように子ども会活動充実により青少年健全育成につながることから継続し、子ども会のニーズを把握し参加者が増えることを期待します。

② 事業名[27]ＴＡＫＫＯチャレンジフェスタ２０２４

長年町民に親しまれた町民運動会とチャレンジデーを、上手くスポーツとレクリエーションを合一・一体化した新規事業と認識しました。スポーツやレクリエーションを通し町民のニーズに応えても、参加者が１００人と非常に少なかったことは残念だとは思います。しかし、総合評価では現状成果が上がっているため効率化に努めながら事業を継続することにしています。継続につながることわざが多々ありますが「ローマは一日にして成らず」等、続ければやがて良い結果や成果につながると思います。開催後もスポーツが習慣になり、さらに町民のニーズを高める例えばスポーツツーリズム等による地域の活性化を図ることにもつなげて欲しいと思います。

③ 事業名[35]図書館運営事業、[36]図書館子育て支援事業

コロナ禍による規制も緩和し、図書館の利用もスムーズになって、本の選書等を急がなくても良くなり、町民の方々も喜んでいることと思います。評価と方向性に示したように利用者とのコミュニケーションを取り、その中できめ細やかに利用者の要望に応えることができています。また、選書の時も気軽に相談でき、他の図書館にないシステムだと思います。さらに、６年度は図書館開館３０周年記念バッグ２５０枚のプレゼントや図書バリアフリー、ブックカートの設置、「大人のための絵本教室」も開催し、健常者だけでなく障害者や高齢者も気兼ねなく利用しやすくなり、大変喜ばしいことと思います。

入館者数も個人貸出冊数も増え、図書館を活用する町民の方が増加したことは、もしかするとコロナ禍で自粛し、自宅で過ごす時間が増えたことで本に親しむ環境が整ってきたこともプラスの要因の一つと思います。事業を継続し、さらに読書の好きな多くの町民を増やし、気軽に本を手に取り、図書館を気兼ねなく利用できることを願っております。

図書館子育て支援事業については、田子町に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に絵本や子育てに関する図書「ブックスタート」と、３歳児に絵本をプレゼントする「セカンドブック」は、成果として保護者に大変喜ばれているために、来館する親子が多く、図書館を利用して絵本を借りて、本好きの子ども達が増えていることは大変喜ばしいことだと思います。事業を継続し、親子で図書館の絵本や図鑑などに興味を示し、本に親しみ、気軽に本を手に取る、本好きの子が増加することを願っております。

田子町教育委員会事務の点検・評価アドバイザー
田中　重明
千葉ケイ子

◆　令和６年度田子町の教育施策の基本方針と重点

基　本　目　標　　共に学び夢と絆を育むまちへ

田子町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所の指導の方針と重点及び田子町町民憲章の精神を基調とした生涯学習の理念に基づき、次の基本方針を掲げて人材の育成を図るとともに、地域文化の発展振興に努める。

基　本　方　針

１．確かな学力と豊かな人間性を育むことができるよう、学校教育及び社会教育の充実を図る。
２．いきいきとスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、関係機関・団体などと連携しながら、それぞれの目的に応じたスポーツ活動を支える環境の整備により、スポーツの振興を図る。
３．先人たちにより培われてきた伝統文化の伝承と、町民の多種多様な文化活動の促進や新たな文化芸術活動の輪を広げ、文化の継承と創造を図る。
４．多様な文化との出会いを通じて、町民が国際社会に対する理解を深めることができるよう、更なる国際交流の推進を図る。
５．学校と地域が連携・協働する体制づくりや学びの場を核とした、学習活動を通じての絆を形成し、地域全体で子どもたちを育てる。

この実現のため、町内の関係機関や各種団体と緊密な連携を図ってまいります。

基本施策並びに主要施策

１．自ら学び、考え、行動する力を育てます
（１）確かな学力をつける環境の充実
（２）地域の人財を活用した教育
（３）誕生からとぎれのない教育環境

２．みんなで楽しめるスポーツと芸術文化の輪を広げます
（１）活気のあるスポーツ・レクリエーションの創出
（２）芸術文化に親しむまちづくり
（３）郷土を知り、文化を守る

３．世界にはばたくまちにします
（１）国際交流と多文化共生の推進
（２）グローバルな人財の育成
（３）姉妹都市交流の継続と発展

４．笑顔あふれる仲間と学びの場をつくります
（１）好奇心を刺激する学びの場の充実
（２）自主性のある青少年の育成
（３）家族の絆を深める家庭教育

◆　学校教育指導の方針と重点

１．方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

２．重点

（１）授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、主体的・対話的で深い学びを通して確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア　主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画等の整備

イ　「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養に向けた教材研究の深化

ウ　一人一人の学習の過程や成果の的確な把握と指導の改善につながる評価の工夫

エ　各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

オ　学校図書館やＩＣＴなどを活用した子どもの学びを支援する学習環境の充実

カ　総合的な学習の時間の充実

（２）道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳性の育成に努める。

ア　道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実

イ　道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ　郷土を愛する心を育む指導の充実

エ　道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

（３）特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

ア　自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ　自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ　児童の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ　集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

（４）体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア　運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ　健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導の充実

ウ　食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ　安全な生活を送る基礎を培い、安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質・能力の育成

（５）生徒指導の充実

一人一人の子どもが、健やかに成長することができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調として支えるとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

ア　基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実

イ　生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導と学年・学級・ホームルーム経営の充実

ウ　児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

エ　児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応の徹底

（６）キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

ア　キャリア教育指導体制の整備・充実

イ　現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実

ウ　児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

（７）特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもが、障害等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

ア　校内支援体制の整備・充実

イ　個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実

ウ　個別の指導計画の作成と活用による指導の充実

エ　交流及び共同学習による相互理解の促進

（８）環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間との関わりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

ア　教科等間の関連を踏まえた指導の工夫

イ　県境産廃不法投棄事案を後世に伝えながら地域の環境の実態に即した指導の工夫

ウ　環境に関わる体験活動の充実

（９）国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

ア　郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

イ　外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成

ウ　中学生の海外派遣、ギルロイ市高校生短期研修の受け入れ等を通しての異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報モラルを含む情報活用能力を身に付けることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

ア　情報教育を推進する指導体制の整備・充実

イ　学習指導におけるＩＣＴの適切な活用の推進

ウ　情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

エ　家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の充実

(11) 研修の充実

教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修の充実に努める。

ア　教員等の資質の向上に関する指標を踏まえた研修の推進

イ　日常的に学び合い、指導力を高め合う校内研修体制の整備・充実

ウ　教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

エ　学校の教育課題解決のための実践的研究の充実

オ　家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進

(12) 幼稚園教育の充実

幼児の主体的な活動を通して、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう、遊びを通しての指導を中心とし、幼児一人一人の特性に応じた指導を行うよう努める。

ア　教育要領を踏まえた指導計画の充実

イ　研修の充実

(13) 校種間連携の推進

幼・保・小・中の連携による「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に向けた取り組みを積極的に推進する。

ア　幼保小連携の推進（架け橋期等）

イ　小中連携の推進

◆　社会教育行政の方針と重点

１．方針

町民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

また、町民一人一人が生涯にわたり健やかで活力に満ちた生活を送ることができるよう、地域社会における体育、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。

２．重点

（１）　学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成

ア　地域学校協働活動の促進
イ　地域が支えるキャリア教育の充実
ウ　こどもの読書活動の充実
エ　家庭教育支援の充実
オ　青少年の体験活動の充実

（２）　活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

ア　地域活動の実践者、コーディネーターの養成
イ　次代の地域を担う若者の育成
ウ　地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

（３）　生涯を通じた学びと社会参加の推進

ア　高齢者や障がい者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
イ　学習成果を生かした社会参加活動の支援

（４）　社会教育推進のための基盤整備

ア　社会教育推進体制の充実
イ　社会教育施設の機能の充実と活用の促進
ウ　社会教育関係職員の養成と資質の向上
エ　社会教育関係団体等の活動の支援

（５）　スポーツの推進

ア　ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
イ　学校や地域における子どものスポーツ機会の充実
ウ　地域のスポーツ環境の整備・充実
エ　競技スポーツの推進
オ　スポーツによる地域の活性化

◆　文化財保護行政の方針と重点

１．方針

郷土への愛着と誇りを培い、うるおいと活力のある町民生活を実現のため、次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用に努める。

２．重点

（１）文化財の保護・保存、公開・活用の推進

ア　文化財を大切にし、守り伝えようとする意識の啓発

イ　文化財調査や記録作成の実施、国・県及び町の文化財指定等の推進

ウ　指定文化財の保存・修理及び防災活動等の支援

エ　文化財の公開・活用の促進と情報発信

（２）伝統芸能・技術の継承

ア　伝統芸能・技術の保存及び後継者の育成支援

イ　伝統芸能の発表機会の充実

ウ　こどもの伝統芸能伝承活動の推進

◆　学校給食の方針と重点

１．方針

食育基本法に基づき、学校と保護者と給食センターが密接に連携しながら、栄養バランス、郷土食、伝統食などに鑑み、安全・安心な給食に努める。

２．重点

（１）食育の推進

ア　だしの活用による、塩分の低減

イ　食の出前授業の実施による、食の知識の深化とマナーの習得

（２）安全・安心な給食の提供

ア　地元食材の活用

イ　食材及び調理場の衛生管理

◆　事業個別評価の観点

1　事業の評価

事務事業の実績の評価は、田子町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の４項目で検討され、次表の４段階で評価します。

･計画性

事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。

･効率性

コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。

･効果性

総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。

･妥当性

町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎（期待どおり）	80%以上
評価が中位の事業	○（ほぼ達成）	60～80%
評価が低い事業	△（期待以下）	60%以下
未実施の事業	－（評価なし）	

2　総合評価

総合評価は１の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡大し、さらに成果の向上を図る。
継続	現状成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。
改善 縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適正化・コスト削減または成果の向上を図る。
完了	完了した事業。

✓「学校教育指導の方針と重点」との関連事業

番号	事務事業名	担当グループ等
1	学校評議員事業	学務グループ
2	学びのアドバイザー配置事業	学務グループ
3	小学校総合学習事業	学務グループ
4	中学校総合学習事業	学務グループ
5	教育振興事業	学務グループ
6	全国大会出場奨励事業	学務グループ
7	県中体連等派遣補助事業	学務グループ
8	奨学資金事業	学務グループ
9	特別支援教育支援員配置事業	学務グループ
10	三戸地方教育研究所運営事業	学務グループ
11	中学生海外派遣事業	学務グループ
12	外国青年招致事業（ＡＬＴ）	学務グループ
13	語学検定等支援事業	学務グループ
14	公営塾実施事業	学務グループ
15	高校入学祝い金支給事業	学務グループ
16	高校修学継続支援給付金支給事業	学務グループ
17	ＧＩＧＡスクール推進事業	学務グループ
18	小中学校維持管理事業	学務グループ
19	子育て支援事業	町立幼稚園
20	幼稚園教育支援事業	町立幼稚園

✓「社会教育行政の方針と重点」との関連事業

番号	事務事業名	担当グループ等
21	スポーツ賞表彰事業	スポーツ・社会教育グループ
22	文化賞表彰事業	スポーツ・社会教育グループ
23	二十歳を祝う会	スポーツ・社会教育グループ
24	田子町文化協会への支援	スポーツ・社会教育グループ
25	田子町子ども会育成連絡協議会への支援	スポーツ・社会教育グループ
26	キャンピングワールド	スポーツ・社会教育グループ
27	ＴＡＫＫＯチャレンジフェスタ２０２４	スポーツ・社会教育グループ
28	文化祭運営事業	スポーツ・社会教育グループ
29	生涯学習町民研修会	スポーツ・社会教育グループ
30	公民館講座	スポーツ・社会教育グループ
31	スポネットたっこへの支援	スポーツ・社会教育グループ
32	水泳教室	スポーツ・社会教育グループ
33	県民駅伝競走大会補助事業	スポーツ・社会教育グループ
34	健康ウォーク	スポーツ・社会教育グループ
35	図書館運営事業	町立図書館
36	図書館子育て支援事業	町立図書館

✓「文化財保護行政の方針と重点」との関連事業

番号	事務事業名	担当グループ等
37	田子神楽保存会への支援	スポーツ・社会教育グループ
38	田子神楽養成講座	スポーツ・社会教育グループ
39	文化財パトロール事業	スポーツ・社会教育グループ
40	文化財保護活動事業	スポーツ・社会教育グループ

✓「学校給食の方針と重点」との関連事業

番号	事務事業名	担当グループ等
41	学校給食運営事業	学校給食センター
42	給食センター調理等委託事業	学校給食センター
43	給食センター改修等事業	学校給食センター

<table>
<tr><td>事業名</td><td>1</td><td>学校評議員事業</td><td>事業の評価</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">保護者や地域住民を学校評議員として置き、学校運営等についての意見を聞くとともに、その理解や協力を得て特色ある教育活動を行う。

【参考】「田子町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」
（学校評議員）
第１９条の６　学校に、学校評議員を置くことができる。
２　学校評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べることができる。
３　学校評議員は、当該学校の職員以外の者で教育に関する理解及び識見を有する者のうちから、校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">■ 評議員報酬　６８，９００円
田子小５名、田子中５名委嘱
■ 学校評議員会開催
・田子小学校　8 月 29 日、3 月 13 日
・田子中学校　7 月 16 日</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">各校において、評議員へ学校の教育計画・教育活動等について説明し、意見を学校運営に取り入れながら、理解や協力を得ることで、地域に開かれた学校づくりにつなげることができた。</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">地域住民の意見が反映されることで地域に根ざした特色ある学校づくりが可能となる。今後も、学校評議員からの意見や要望等について、学校と教育委員会等で情報共有を図っていく必要がある。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>2</td><td>学びのアドバイザー配置事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">社会の変化に対応できる、心豊かでたくましい人づくりを目指して、田子町の小・中学校及び生涯学習における教育の支援体制の強化を目的として、町内小･中学校長の求めに応じ業務を行う。
･教員の指導力向上に係るアドバイス支援に関すること。
･授業時における学習指導の支援に関すること。
･校内における生活指導の支援に関すること。
･学校生活等における教育相談に関すること。
･教育委員会が行う生涯学習及び社会教育に関する事業等の支援に関すること。その他、教育長が必要と認める業務。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">■ 給料等　月額２００，０００円（総務課予算）
■ 配置状況　田子小学校１名、田子中学校１名
■ 主な業務
＜小学校＞
・児童の学習理解支援、指導者の学習指導支援、学校行事支援
・たっこ塾（夏季･冬季･学年末始め休業中）での児童の学習指導
・全校活動支援、校長会出席
＜中学校＞
・授業時英語指導
・英検受検対策指導
・３年生受験対策英語指導</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">児童生徒への手厚い学習指導と教職員への指導・相談役として、長い教職経験を活かした学びのアドバイザーを置くことで、児童・生徒、教職員へのきめ細やかな指導を行うことが出来ている。
令和６年度から中学校へ１名配置したことによって、小中学校の状況に応じた学習支援を行うことが出来た。</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">小学校校長または中学校校長という経験を活かし、児童生徒及び教職員へ適切な指導にあたっていただいている。年間の実績内容を検証しながら、各校の状況に応じ、学習支援内容等を検討していく。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>3</td><td>小学校総合学習事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>特別活動の充実</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>キャリア教育の推進</td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">「総合的な学習の時間」
変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとすることから、思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代においてますます重要な役割を果たすものである。（文部科学省ホームページより抜粋）</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">■ 活動内容
・３年生　にんにく収穫・植え付け体験学習
福祉体験学習（高齢者疑似体験）
・４年生　田子町エコレンジャー（再利用、水道施設見学など）
福祉体験学習（盲導犬体験）
・５年生　田植え・稲刈り体験学習、福祉体験学習（盲導犬体験）
・６年生　田子町ガイドブックを作ろう
福祉体験学習（手話体験教室）

■ 事業費　　講師謝礼３２，０００円</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">体験学習を通じて、児童は地域の自然や産業、福祉に対する理解を深めることができた。農業体験では、食の大切さや働くことの意義を実感し、福祉体験では高齢者や障がい者への思いやりや共感の心が育まれた。また、６年生のガイドブック作成などを通じて、自ら調べ、考え、発信する力も養われた。</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">各学年の発達段階に応じた体験活動が効果的に構成されており、児童の興味関心を引き出しながら、主体的な学びへとつなげることができた。地域資源を活用した学習は、児童の郷土愛を育むとともに、地域とのつながりを深める貴重な機会となり、福祉体験の継続的な取り組みも、児童の人権意識や社会的感受性の向上に寄与している。
今後も、現状の活動を大切にしながら、児童の発達や地域との関係性に応じて、学びの深さと広がりを意識した展開を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>4</td><td>中学校総合学習事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>特別活動の充実</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>キャリア教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">「総合的な学習の時間」
変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとすることから、思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代においてますます重要な役割を果たすものである。（文部科学省ホームページより抜粋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">■ 活動内容
よりよい郷土の創造を目指し、主体的に問題解決や探究活動に取り組む態度を育成するために、学年毎に身に付けるべき力を明確にした。
・１年生　農業体験（６月）、郷土探訪（９月）、希望式（２月）
・２年生　職場体験学習（１０月）、立志式（３月）
・３年生　郷土研究（８～１２月）、高校説明会（９月）
・全校　　ナニャドヤラ演舞（５月体育祭）

■ 事業費　消耗品費２８，１０１円</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">学年毎にオリエンテーションを実施して、３年間を見通した学習の全体像を示すことができた。
・１年生　郷土の歴史についての調査活動を行い郷土理解を醸成することができた。
・２年生　様々な郷土の産業を調査・体験し、その内容を発信する活動ができた。
・３年生　郷土の特色について自ら課題を見つけ、その課題を克服するための提言をまとめることができた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">郷土への理解と愛着を深めるとともに、主体的な学びの姿勢を育成し、学年ごとに段階的な体験・探究活動が設定されており、系統的な学習の流れが確立されている。
地域との連携や学びの成果の発信を強化し、３年間を通じた探究活動の深化と生徒の主体性をさらに育む取り組みへと発展させる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>5</td><td>教育振興事業</td><td>事業の評価</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>特別活動の充実</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>体育・健康教育の充実</td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">学校教育活動及び社会教育活動の推進母体である田子町教育振興会を支援し、教育の充実を図る。また、教育振興に係る団体に支援を行う。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">■ 田子町教育振興会への業務委託　　１，５１０，０００円
業務内容は、振興会運営のほか、児童生徒作品展への出展、「けやき」「べごっこ」「教学」の発行、合同芸術鑑賞会の実施、児童･生徒の教養に係る支援、小中学校スキー講習会への支援

■ 田子町教育振興会への補助　　１，７５５，０００円
＜内訳＞
スポネットたっこ　９４５，０００円
田子町文化協会　１８５，０００円
こども会育成連絡協議会　１５７，０００円
田子神楽保存会　１９５，０００円
連合ＰＴＡ　９８，０００円
田子町連合婦人会　９３，０００円
石亀神楽保存会　８２，０００円</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">教育振興会を支援することで、教育活動・社会教育活動の充実と各団体活動の充実が図られた。</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">町教育振興会の継続によって、児童生徒及び各団体の活動の充実が図られていることから支援は必要である。なお、学校教育活動を行う教職員の働き方改革も課題となっていることから、調整を図りながら事業を実施する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>6</td><td>全国大会出場奨励事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(3)</td><td>特別活動の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>体育・健康教育の充実</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">町内の小学校・中学校に在籍する児童生徒が、教育及び社会体育・文化活動による東北大会及び全国大会並びに世界大会的な規模の水準で開催される大会へ町等を代表して出場するために必要な旅費の一部を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童生徒の活動を応援し、地域活動の振興を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">■ 奨励金　１，１１８，４００円
■ 補助内訳　６件
・第 5 回わんぱく相撲女子全国大会（愛媛県）　87,220 円
・第 21 回全国少年相撲選手権大会（東京都）　468,000 円
・第 27 回全日本小学生女子相撲大会（京都府）　415,180 円
・第 5 回「東松島市長杯」CBS 少年軟式野球「6 年生東北大会」（宮城県）　9,000 円
・全国選抜小学生プログラミング大会（東京都）　43,000 円
・第 31 回日本リトルシニア全国選抜野球大会（大阪府）　96,000 円</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">全国大会に参加した団体の遠征にかかる費用の一部を助成することで、保護者等の負担を軽減できた。
また、上位大会を経験、意識することで児童生徒の特別活動の質の充実が図られた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">上位大会に参加するための費用の負担軽減を図るために有効だが、類似事業との整合性について検討する必要がある。また、地区大会が開催されない「全国大会」と名が付く大会参加への助成が課題となっているものの、子どもたちへ大会出場を経験させるための支援として継続していく。</td></tr>
</table>

事業名	7	県中体連等派遣補助事業	事業の評価	◎
評価基準	(3)	特別活動の充実	総合評価	継続
	(4)	体育・健康教育の充実		
概要		田子中学校の生徒がスポーツ・文化を通して豊かな心や健やかな体を育成することを目的として、生徒及び引率者が大会に参加するための経費（大会参加料、交通費、宿泊費等）を補助し、田子中学校の部活動の推進と保護者負担の軽減を図る。		
実績		■ 補助部活動等 陸上競技部、野球部、バレーボール部、ソフトテニス部、相撲部、スキー部、吹奏楽 ■ 補助金額　２，７０８，１４２円 ■ 補助件数　２１件		
成果		参加生徒の及び引率者の大会参加に係る交通費、宿泊費、参加費を補助することで、保護者負担の軽減はもちろん、学校等の負担軽減にもつながっている。		
評価と方向性		保護者負担の軽減と部活動推進に一定の効果があり、今後も継続予定ではあるが、中学校の部活動の地域移行が推進される中、令和６年度からは三戸郡大会ではなく、三八地区として実施されている。 また、中体連や競技団体以外を主催とする大会も増えており、今後、部活動の有り方が大きく変わることが想定されるため、補助方法等の対応を検討していく必要がある。		

事業名	8	奨学資金事業	事業の評価	○
評価基準	(6)	キャリア教育の推進	総合評価	継続

概要

学習意欲と能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な生徒に対して奨学資金を貸し付け、高校・大学等への進学を支援し、有用な人材を育成する。

借入期間中の身分			貸付額	償還免除※
高校生			月額３万円	無
高専生		1～3 年次	月額２万円	無
		4～5 年次	月額４万円	
大学院生、大学生、短大生、各種専門学校生等	田子高校を卒業した者		月額５万円相当	有
	田子高校以外の高校を卒業した者	国公立大生		有
		私大生		無

※償還免除…借入金総額の２割免除

実績

■ 貸付人数内訳

審査年度		H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
貸付開始年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
貸付者数(名)	高　校　生	0	3	0	0	0	0
	高　専　生	0	0	1	0	0	0
	専門学校生	3	3	3	4	3	1
	短　大　生	0	1	1	3	1	0
	四　大　生	6	8	8	5	2	10
	計	9	15	13	12	6	11

成果

新制度に移行後の平成３０年度からは、貸付人数は毎年１０名程度を募集している。審査会を経て、令和６年度は奨学生１１名への貸付が決定した。

評価と方向性

審査会において、償還免除要件を拡大してはどうかという意見もあるが、原資に影響するため、検討する場合は慎重な議論が必要となり、貸与と償還の見通しをもって事業を進める必要がある。

事業名	9	特別支援教育支援員配置事業	事業の評価	◎
評価基準	(7)	特別支援教育の充実	総合評価	継続
概要	教育上支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、特別教育支援の充実を図る。 また、通常学級においても、生活指導等の補助としての取り組みを行う。			
実績	■ 支援員配置 田子小６名（うち教員免許所持２名） 田子中２名（うち教員免許所持２名）　計８名 ■ 勤務時間 年９５０時間／人 ■ 主な業務 ・各小中学校での学習支援 ・小学生対象のたっこ塾（長期休業日）における学習サポート			
成果	各校に支援員を配置し、教育上支援を必要とする児童生徒に対し、学習指導上のサポートを行い、円滑な教育活動を実施することができた。			
評価と方向性	支援をすることで円滑な教育活動が出来ていることから、配置については今後も継続実施する。 引き続き児童生徒の支援を行う必要はあるが、配置人数について人事及び財政部局との協議を踏まえ、慎重に検討していく必要がある。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>10</td><td>三戸地方教育研究所運営事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(7)</td><td>特別支援教育の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(11)</td><td>研修の充実</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">三戸地方教育研究所は、三戸町及び田子町の二つの町が、『地方自治法』第２５２条の２の規定に基づき設立した教育における広域行政機関で、二町が支出する負担金によって運営されている。
事業としては、教職員を対象とした各種研修・講座の開催、児童・生徒・保護者等からの教育相談、ＮＲＴ学力調査やＱ‐Ｕの分析等の調査研究及び地教委の委託による教育支援委員会等を行っている。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">■ 運営負担金（児童生徒数の割合により算出）
田子町　　５．０１６，０００円
三戸町　１０，６５９，０００円
計　　１５，６７５，０００円</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">専門的技術研修の実施により、教員の資質向上が図られ、教育支援委員会では、特別支援教育をはじめとする教育支援の充実が図られた。
また、教育相談、ＮＲＴの分析、Ｑ‐Ｕの調査・分析、教育関係資料の発行等が実施された。

【主な内容】
■ 教育支援委員会学習会（５月、１２月）
■ 学級経営研修講座（７月）
■ 教育相談研修講座（８月）
■ 授業技術講座（８月）
■ 授業実践支援事業（６、１０月）
■ 特色ある教育活動等推進事業（通年）
■ 教育支援委員会（５から１月まで８回）
■ 学校訪問</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">三戸地方教育研究所の運営により、町単独では実施できない教育支援に関わる事業を実施が可能となっているため、学校を含め、三戸町との連携を強化し、今後も運営費の負担を継続していく。</td></tr>
</table>

事業名	11	中学生海外派遣事業	事業の評価	◎
評価基準	(9)	国際化に対応する教育の推進	総合評価	継続
概要	中学２年生を対象に、海外に派遣し現地の中学生や市民との交流を通して異文化について見聞を広げ、国際人としての素養を高めるとともに一層の国際理解教育の充実と、相互理解及び友好親善を深める方策の推進を図る。 実施内容の提案、現地との調整等から引率までを、（一財）にんにく国際交流協会が行い、協会に対して事業実施に係る費用を補助する。			
実績	■事 業 費　２，７０２，０００円 ■派遣人数　田子中２年生７名、引率教員２名、教育長 ※このほか、国際交流協会２名、ＣＩＲ１名 ■派遣期間　令和６年１０月２４日～１０月３１日　８日間 ■派 遣 先　アメリカ合衆国カリフォルニア州ギルロイ市 ■主な実施内容 派遣先での施設等見学、現地生徒・市民との交流、ホストファミリーとの交流（ホームステイ）、事前研修、英会話講座、結団式、帰国報告、事後学習会、報告文集作成、研修報告会 ■個人負担　生徒１人当たり１２０，０００円			
成果	コロナ禍を経てギルロイ市の受入れが可能となり、５年ぶりに派遣が再開された。現地の生徒や市民等との交流を通して異文化に触れることで、生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成が図られ、国際理解を高めることが出来た。			
評価と方向性	生徒の向学心を高める機会となっているため、継続して行っていく。グローバルな時代に向けて、多くの生徒が興味を持つ取り組みとして周知方法や事業内容を検討する。 生徒数が減少してきていることから、派遣人数の見直しや、教職員の働き方改革に伴い、引率教員が参加する事前研修等の開始時間や依頼内容についても検討する必要がある。			

事業名	12	外国青年招致事業（ALT）	事業の評価	◎
評価基準	(9)	国際化に対応する教育の推進	総合評価	継続
概要	「語学力指導等を行う外国青年招致事業」（ＪＥＴプログラム）により、外国語指導助手を配置し、小・中学校における英語授業の補助等を中心として、小・中学生に対する国際理解教育と語学力（英語）向上に資する。			
実績	■ 報酬（総務課付） ３年目　月額３２．５万円（年額３９０万円） ■ 任用　２名 ・リトル・ドリュー・スティーヴン（2022.8.1～） ・バルデス・クリスチャン・レイムンド（2023.1.17～） ■ 派遣先 田子小学校、田子中学校、田子幼稚園 ■ 主な業務 ・町内小・中学校での英語関係授業の補助 ・幼稚園での未就学児との交流			
成果	各校に１名ずつ配置したＡＬＴの活用によって、英語授業の質の向上に寄与するとともに、英語教育の指導体制の充実が図られた。 また、外国語に関わる事業や町内各種行事への参加を通して、地域の国際交流促進につながっている。			
評価と方向性	ＡＬＴと接することで、英語力及び外国語でのコミュニケーション能力の向上に一定の効果があったと考えられる。 小学校の英語が必修化したことから、小学校の英語教育におけるＡＬＴの需要が高まっており、町の英語教育の充実のため増員を要望し、現在２名の配置となっている。学校の授業以外での活用や、二人体制の利点を引き出せるよう活用方法を検討する。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>13</td><td>語学検定等支援事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(6)</td><td>キャリア教育の推進</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(10)</td><td>国際化に対応する教育の推進</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">各種検定試験の受検機会拡大と、小中学校児童生徒の学習意欲の向上を図ることを目的に検定受検料を補助する。令和４年度から数学検定・プログラミング検定を加えた４検定に助成している。また、町内在住で町外の学校に通学している児童生徒も助成対象としている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">■ 受検者数　延べ１８０名（小学生４８名、中学生１３２名）
■ 受検料補助金　５２９，６００円
【検定別内訳】
・英語検定　　２５７，６００円
　８４名（小学生２６名、中学生５８名）
・漢字検定　　１０２，０００円
　４５名（小学生１名、中学生４４名）
・数学検定　　９８，３００円
　２６名（小学生２名、中学生２４名）
・プログラミング検定　　７１，７００円
　２５名（小学生１９名、中学生６名）</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">合格した場合は、上級を一回に限り再度助成を受けることができることから、子ども達の学習意欲の向上や自信につながった。
【各級合格者数】
・英検　計４４名
　準２級／２名、３級／８名、４級／１９名、５級／１７名
・漢検　計１５名
　準２級／０名、３級／１名、４級／５名、５級／９名
・数検　計１２名
　３級／０名、４級／２名、５級／１０名
・プログラミング検定　計２６名
　１級／９名、２級／６名、３級／７名、４級／４名</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">児童生徒が各種の検定を受検し、級を取得することで、自己の能力を把握でき、学習意欲の向上や自信につながっている。拡充した補助対象者と検定種類は継続していく。</td></tr>
</table>

事業名	14	公営塾実施事業	事業の評価	◎
評価基準	(6)	キャリア教育の推進	総合評価	継続
	(10)	情報化に対応する教育の推進		
概要		子どもたちの学力向上、子育て世帯の負担軽減、長期休暇中等の子どもたちの居場所の確保を目的とする。中学２・３年生を対象とした夏期・冬期講習では、高校受験に向けて、対策の仕方、重要項目の講義演習及び学習意欲の向上を目的とする補充的な学習や発展的な学習支援を行う。小学６年生を対象とした春期講習では、中学校進学に向けて、重要項目の復習と中学学習の予習を行う。 また、ＩＣＴ学習への興味・関心を高め、学力向上につなげる取組として、令和５年度からＩＣＴに特化した公営塾（ＩＣＴクラブハウス）を実施している。		
実績		○公営塾（中学生－英語・数学・国語、小学生－英語・算数） ■受講者　延べ５２名 夏期講習　中学２年生／１１名、中学３年生／７名 受験対策講座　中学３生／６名 冬期講習　中学２年生／７名、中学３年生／８名 春期講習　小学６年生／１３名 ■委託金額　２，２３７，９５０円 ■委託先　株式会社プランニングドアーズ（仙台市） ○公営塾（田子ＩＣＴクラブハウス） ■受講者　小学生３３名（中学生なし） ■委託金額　７３５，９００円 ■委託先　タイムソフト合同会社（田子町）		
成果		公営塾は、小学６年生は中学進学の準備期間として、中学２・３年生は受験準備に取り組む好機となった。ＩＣＴ学習講座は、プログラミングなどを学び、コンピュータに慣れ親しむ機会とすることができた。 公営塾を拡充したことで、児童生徒の意識改革や、保護者の経済的な負担軽減が図られた。		
評価と方向性		令和５年度と比較して参加人数が減少した。学校とは違う学びの場として定着できるよう、継続するとともに、生徒のレベルに応じたコース設定や時間割等、多くの児童生徒が参加するための工夫が必要である。		

事業名	15	高校入学祝い金支給事業	事業の評価	◎
評価基準	(14)	校種間連携の推進	総合評価	継続
概要	高校に入学した生徒の保護者に、入学祝い金として１名あたり８万円を支給し、町外の高校等へ進学した生徒のいる世帯の経済的負担の軽減を図る。			
実績	■ 支給金額　２，４００，０００円（一人８万円） ■ 支給者数　３０名			
成果	高校に入学した生徒を持つ保護者に入学祝い金を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。			
評価と方向性	高校生への助成により、保護者の経済的負担が軽減されたと考えられることから、今後も継続していく。			

事業名	16	高校修学継続支援給付金支給事業	事業の評価	◎
評価基準	(14)	校種間連携の推進	総合評価	継続
概要	町外の高校へ安心して通学できる環境を確保するとともに、経済的負担の軽減を図るため、高校生を持つ保護者を支援する。			
実績	■ 給付金額　７，９２０，０００円（一人８万円） ■ 支給者数　９９名			
成果	公共交通機関等で通学する生徒や寮で生活する生徒の通学環境を確保できるよう給付金を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。			
評価と方向性	保護者の経済的負担が軽減されたが、特定のバス停から乗車することで危険が生じる可能性があり、その危険を回避するために給付金を支給する意図が伝わっていない状況が見受けられることから、支給理由の周知徹底を図る。			

事業名	17	ＧＩＧＡスクール推進事業	事業の評価	◎
評価基準	(1)	授業の充実	総合評価	継続
	(10)	情報化に対応する教育の推進		
概要	１人１台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ＩＣＴ環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的とし、タブレット端末を活用した教育活動のための環境を整備する。			
実績	タブレット端末を活用した教育活動を行うための業務委託等を実施した。 ■ 事業費 ・パソコン機器等保守管理業務委託料　５７，８１６円 ・校内無線ＬＡＮ関連機器等保守委託料　８０，９１６円 ・ＩＣＴ支援業務委託料　３，９６０，０００円 ・クラウド型学習支援教材使用料　１，１８４，３７０円 ・インターネット使用料　６５９，９５２円 ・ドメイン（.ed.jp）使用料　１３，２００円 ・ＷＥＢフィルタリングシステム使用料　４７９，０７２円 ・授業目的公衆送信補償金　１７，１６０円			
成果	業務委託によるＩＣＴ支援員の配置により、教員及び児童生徒が授業で端末を扱う機会が多くなっている。教員に対しては、機器の操作等のサポートを行い、苦手意識の軽減と業務の負担軽減が図られた。 また、フィルタリングの導入により、違法・有害なウェブサイトへのアクセスを制限し、安心して調べ学習等を実施してもらうことが出来た。			
評価と方向性	国のＧＩＧＡスクール構想に伴い、１人１台のタブレット端末を令和２年度末に導入し翌年度から運用を開始し、令和４年度７月からはＩＣＴ支援業務を実施し、教育活動を支援することができている。 タブレット端末の更新時期が到来し、次期端末をどのように更新していくのか早い段階で決定していく必要があるが、青森県ＧＩＧＡスクール推進協議会が行う共同調達への参加を検討し、子どもたちの教育に支障がないよう端末の更新を滞りなく進める。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>18</td><td>小中学校維持管理事業</td><td>事業の評価</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>授業の充実</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">建築から 30 年以上を経過した施設もあるため、施設・設備等の老朽化も見られるため、安全安心に配慮した改修及び学校設備機器等の更新事業に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">■ 小中学校維持管理事業
学校の健全かつ正常な運営が損なわれないよう、施設の維持管理及び機械設備の保守点検を実施し、機能維持を図った。
・小学校 10 件、中学校 7 件
業務内容：浄化槽維持管理業務、消防用設備点検委託業務、ボイラー清掃業務、学校施設警備業務、電気保安管理業務、ボイラー保守点検業務、重油タンク漏洩検査業務、灯油埋設配管漏洩検査業務、貯水槽清掃・水質検査業務、遊具点検業務、建築物定期調査、ダムウェーター点検業務
・事業費　２，０２３，３４０円
■ 小中学校施設修繕事業（工事）
学校施設において防犯対策を講じるため、正面玄関扉の一部を自動ドア化し、遠隔で施錠管理するための工事を実施した。
・田子小中学校自動ドアセキュリティ工事、設計業務委託
・事業費　６，２９６，４００円</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">各施設の良好な維持管理及び環境整備がなされ、設備機器等の保守点検により機能保持を図った結果、引き続き安全に使用することが可能となった。
また、正面玄関扉の自動ドアセキュリティ工事により、来校者をインターホンで確認し遠隔操作で開閉できるため、子どもたちの安全が守られるとともに教職員の負担が軽減された。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">施設の管理業務委託により、施設の安全を確保することが出来ている。また、正面玄関扉の工事により防犯機能が向上し、安全面が強化された。
学校施設は町の指定避難所の予備施設にも指定されているが、今後も施設の老朽化が進むことから、良好な施設利用ができるよう計画的な維持管理について検討していく。</td></tr>
</table>

事業名	19	子育て支援事業	事業の評価	◎
評価基準	(13)	幼稚園教育の充実	総合評価	継続
概要	幼稚園教育の推進を図るため、また、保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の３分の１を助成する。 ※保育料が無償化になったため、令和元年１０月以降は保護者の負担額は給食費のみとなっている。			
実績	■事 業 費　３１，９９０円 ■対象者数　３名			
成果	幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減できた。			
評価と方向性	幼稚園に就園している園児の保護者の経済的負担を軽減できる事業であるため、今後も継続していく。			

事業名	20	幼稚園教育支援事業	事業の評価	◎
評価基準	(13)	幼稚園教育の充実	総合評価	継続
概要		幼稚園教育要領の教育時間終了後に行う教育活動の一端として、子育て支援のために幼児と小学生の保育を希望する子を受け入れる。 ■ 教育時間　9:00～15:00 ■ 預かり保育　7:30～9:00、15:00～18:30（小学生は水曜日のみ） ■ 長期休業中 希望する在籍園児（小学生の場合、１～３年生の卒園児のみ対象）		
実績		■ 事 業 費　７３，６１３円 ■ 登録者数　２５名 ・通常時利用人数　１５～２５名 ・長期休業時利用人数　２～１５名		
成果		小学生、保護者や地域の人々に施設を開放することで、幼稚園と地域との関わりが深まり、幼児期の教育の中心となる機関としての役割を果たすことができた。		
評価と方向性		外部講師を依頼する幅を広げ、新しい活動を取り入れる事が出来た。登録する小学生も、卒園児以外の児童が増えてきており、新しいつながりが園児・児童・保護者・地域の方々の中で見受けられた。今後も保護者や地域の人々のニーズに応えて、様々な活動を継続していく。		

事業名	21	スポーツ賞表彰事業	事業の評価	◎
評価基準	(5)	スポーツの推進	総合評価	継続
概要	児童生徒、一般の個人又は団体を対象とし、スポーツ全般の優秀な成績を修めたもの、功績のあったものを表彰し、受賞者及び関係団体等の意識・知識・技術の更なる充実を図るため、田子町スポーツ賞表彰規則に基づき表彰する。			
実績	【審査会】 ■開 催 日　令和７年１月２１日 ■開催場所　田子町中央公民館　会議室 ■出席者数　審査会委員　５／７名 【表彰式】 ■開 催 日　令和７年２月２３日 ■開催場所　田子町中央公民館　ホール ■表彰区分 ◎スポーツ功労賞（個人－　１） ◎スポーツ特別賞（個人－　１） ◎スポーツ大賞　（個人－　１） ◎スポーツ賞　　（個人－　２） ◎スポーツ奨励賞（個人－１７、団体－　３） 【事業費】 １９７，１５８円（委員報酬、表彰記念品）			
成果	各種大会において優秀な成績、スポーツの普及、選手の養成に功績のあったものを表彰した。受賞者については、目標に向かって取り組んだ成果を讃えることにより、自己肯定感・達成感を体感し、スポーツ活動の更なる向上に繋がっている。また、受賞者の功績等を広く町内外に周知することにより、町民の誇り・郷土愛が育まれるとともに、町民一人ひとりのスポーツに対する意識も向上している。			
評価と方向性	実績を評価することにより、競技力向上、各競技の普及発展につながるため継続が望まれる。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>22</td><td>文化賞表彰事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">田子町の文化の向上発展に貢献した者・団体を表彰し、受賞者及び関係団体等の意識・知識・技術の更なる充実を図るため、田子町文化賞表彰規則に基づき表彰する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">【審査会】
■ 開 催 日　令和７年１月２１日
■ 開催場所　田子町中央公民館　会議室
■ 出席者数　審査会委員　４／６名
【表彰式】
■ 開 催 日　令和７年２月２３日
■ 開催場所　田子町中央公民館　ホール
■ 表彰区分
◎文化賞　（個人－３）
◎文化奨励賞　（個人－７）
◎児童・生徒奨励賞（個人－２）
【事業費】
８８，２００円（委員報酬、表彰記念品　他）</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">受賞者については、目標に向かって取り組んだ成果を讃えることにより、自己肯定感・達成感を体感し、芸術・文化活動の更なる向上に繋がっている。また、受賞者の功績等を広く町内外に周知することにより、町民の誇り・郷土愛が育まれるとともに、文化活動に対する造詣も深まり、町民一人ひとりの芸術・文化に対する意識も向上している。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">受賞者には今後の励みになることから継続が望まれる。</td></tr>
</table>

事業名	23	二十歳を祝う会	事業の評価	◎
評価基準	(2)	活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成	総合評価	継続
概要		二十歳の新しい門出を祝福するとともに、大人としての自覚を促し、前途ある若者を激励するために開催する。 【第１部】　式典（主催：田子町中央公民館）		
実績		成人年齢が法改正により２０歳から１８歳へ引き下げられたが、町では、飲酒・喫煙が認められる年齢が２０歳であることから「成人式」から「二十歳を祝う会」へ名称変更し開催。 ■ 開 催 日　令和７年１月１２日 ■ 開催場所　田子町中央公民館　ホール ■ 出席者数　対象者４４名のうち２８名 【事業費】 ２８５，５００円（記念品、ＤＶＤ制作委託費等）		
成果		公民としての権利と義務を再認識し、自律ある大人としての自覚を促すことができた。		
評価と方向性		二十歳を祝う会は、町の人財である若者のためにも継続的に事業を行う必要がある。		

<table>
<tr><td>事業名</td><td>24</td><td>田子町文化協会への支援</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(2)</td><td>活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>生涯を通じた学びと社会参加の推進</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">田子町文化協会は、田子町における芸術・文化団体相互の交流と振興を図ることを目的に組織された団体であり、協会員の自主的な活動・企画運営を促しながら、事務局支援を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">田子町の人口減少・会員の高齢化等により、組織を存続することができずに脱退する団体もあることから、田子ひとくるめゃ文化祭において、活動内容等を周知するために、各出展者に体験コーナーの設置を呼びかけるなどの対策を講じている。併せて、今後、日頃の活動をＣＡＴＶに取材・放送してもらうなど、会員募集に努める。

【事務局支援】
■ 田子町文化協会理事会、評議会開催
■ 田子町敬老会アトラクション出演
■ 田子ひとくるめゃ文化祭参加（文化部門団体出展）
■ 第４７回田子町文化協会芸能発表会開催（令和７年２月２日）</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">田子町の芸術・文化活動を支える団体・人材の育成に寄与した。
団体数１５団体
会員数１５９名</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">歴史ある文化協会だが会員は高齢化しており、事務的支援は今後も必要となる。さらに、会員人数の減少等で脱会する団体も出てきていることから、会の魅力発信や会員の勧誘を図るとともに、時代の変化に合致した新たな団体を設立する等の対策が必要。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>25</td><td>田子町子ども会育成連絡協議会への支援</td><td>事業の評価</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">町内の各子ども会の連絡提携を図り、併せて子ども会育成活動の振興を図ることを目的に活動している田子町子ども会育成連絡協議会を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">【事務局支援】
■ 総会開催１回、役員会開催２回
■ ひとくるめゃ文化祭への参加
バルーンアートで活躍されている方を講師にワークショップを２日間開催した。
■ 子ども会出前講座　※中止
日時：令和７年１月１８日
場所：農業者トレーニングセンター
内容：けん玉やベーゴマ等の昔遊び
参加人数：０名（周知したが申し込みが無かった）</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">活動を通じて、学区を越えた異年齢間や地域の方々との交流があり子どもの社会性・自主性を養う機会となった。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">子ども会活動充実により青少年健全育成に繋がる。そのため、今後も継続していく。
出前講座の時期や内容を精査し、ニーズにあった行事内容にすることで参加者数の増加を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>26</td><td>キャンピングワールド</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">児童生徒（町内の小学校４年生から中学校３年生まで）を対象とし、異年齢集団によるキャンプ生活を経験することによってキャンプの基礎的な技術を習得し、場に応じた判断力・行動力を養うとともに、お互い助け合い励まし合いながら相手を思いやる心・たくましさ・優しさ・生きることの厳しさ・喜びを体験させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">【事業内容】
■ 日　時　令和６年７月２０日～２１日
■ 場　所　間木ノ平グリーンパーク及び上郷公民館
■ 内　容　魚つかみ捕り、レクリエーション
キャンプファイヤー
■ 参加者　子ども１０名（小学生：３年以下２名、４年以上８名）
保護者２名 スタッフ３１名 計４３名
■ 主　催　①田子町子ども会育成連絡協議会
②田子町教育委員会
■ 協　力　田子町野外活動協会
■ 事業費　①１０８，９３７円　②５２，０８２円</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">野外での共同作業や炊事など、日頃体験できない活動を通じて参加者の交流と友情が深まった。団体行動により社会性や自主性を養う機会となった。
新型コロナ感染症の影響で宿泊でのキャンプは４年ぶりとなった。天気予報になかった大雨により急遽会場を変更したが、怪我や事故等無く無事開催できた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">子ども達の判断力、行動力、思いやりの心、生きる力を養う目的として事業の継続が望まれる。</td></tr>
</table>

事業名	27	ＴＡＫＫＯチャレンジフェスタ２０２４	事業の評価	◎
評価基準	(3)	生涯を通じた学びと社会参加の推進	総合評価	継続
	(5)	スポーツの推進		
概要		スポーツやレクリエーションを通して、町民の心身の健全な発達とコミュニティスポーツの普及振興を図り、健康で明るく住みよい地域社会をつくる機会とすることを目的に開催する。		
実績		【会場イベント】 ■期　日　令和６年９月２２日 ■場　所　田子町中央公民館、農業者トレーニングセンター ■内　容　《トレーニングセンター》 ニュースポーツ体験コーナー 《中央公民館ホール》 新体力テスト 《中央公民館～トレセン駐車場》 出店（飲食）、抽選会 【自治会チャレンジ】 会場や各自治会ごとに実施したベントへの参加率に応じて表彰 ダイヤモンド賞４団体、金賞１３団体、銀賞３団体、銅賞４団体 参加者数　２，０９７人 事業費　５０８，４４７円		
成果		会場でのスポーツレクリエーションによる生涯スポーツへの意識の高揚や各地区ごとに開催された行事により地域の融和を図ることが出来た。		
評価と方向性		長年町民に親しまれてきた町民運動会とチャレンジデーの後継事業として実施したが、会場イベントへの参加者が１００人弱と非常に少なかった。当日は豪雨で天候にも恵まれなかったこともあったが、町民の認知度の低さやスポレクイベントへの参加意欲を向上させる取り組みが不足していた。		

<table>
<tr><td>事業名</td><td>28</td><td>文化祭運営事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>生涯を通じた学びと社会参加の推進</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">文化活動の促進を図るとともに、地域産業及び住民福祉の振興の場として、各種活動の発表の場を設け町民相互の交流を促進し、文化・産業・福祉が一体となった総合的な文化祭を開催する。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td colspan="4">【田子ひとくるめゃ文化祭】
■期　日　令和６年１１月９日～１０日
■場　所　田子町中央公民館、農業者トレーニングセンター、みろく館
■内　容　《トレーニングセンター》
田子町文化協会作品展、町内児童生徒美術展、
各団体作品展・活動紹介、公民館講座作品展
《中央公民館》
健康チェックコーナー、献血バス、町民将棋大会、
脳トレ・介護・認知症予防コーナー、
田子町連合婦人会食堂、農林業体験・展示コーナー、
たっこにんにく共進会展示
《中央公民館～トレセン駐車場》
ステージイベント、出店（飲食）、抽選会
《みろく館》
町内事業所紹介コーナー、農業加工体験コーナー
地域おこし協力隊作品コーナー
■事業費　１２２，１３１円（会場装飾消耗品　他）</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="4">総合的な文化祭（田子ひとくるめゃ文化祭）として認識され、多くの方に来場していただいた。</td></tr>
<tr><td>評価と方向性</td><td colspan="4">総合的な文化祭として定着し、一定数の来場者は確保できているが、多くの町民の方から、見て（観て）・体験して頂くためにも継続して行う必要がある。ステージイベントが屋外となるため、寒さ対策を考慮する必要がある。</td></tr>
</table>

事業名	29	生涯学習町民研修会	事業の評価	◎
評価基準	(3)	生涯を通じた学びと社会参加の推進	総合評価	継続
概要		全町民を対象とし、学校教育・社会教育及び地域の教育力の充実を目指した地域ぐるみの生涯学習を推進するため、講演会を開催する。		
実績		【事業内容】 ■開 催 日　令和７年２月９日 ■開催場所　田子町中央公民館ホール ■講　　師　元大相撲力士　舞の海秀平氏 ■演　　題　可能性への挑戦 ～テレビでは言えない大相撲観戦の極意 ■参 加 者　２００名 ■主　　催　田子町、田子町連合父母と教師の会、青森県地域婦人団体連合会 ■主　　管　田子町教育委員会 ■事 業 費　５８８，８３１円		
成果		生涯学習の目的である、より豊かで充実した人生を送るため、様々な学びの機会を提供することが重要なことから、毎年違うジャンルの講師を招請し新たな気づき・学びの場として実施している。		
評価と方向性		今後も、町民が教養を深め、そして、心豊かに、色鮮やかに充実した生活を送るための一助となるような内容を企画していく。		

事業名	30	公民館講座	事業の評価	◎
評価基準	(3)	生涯を通じた学びと社会参加の推進	総合評価	継続
概要		生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため開催する。		
実績		■ 歴史講座　（　６回、延べ　８０名） ■ いけばな講座　（１０回、延べ　５０名） ■ 伝統芸能ナニャドヤラ講座　（４７回、延べ９１５名） ■ 書き初め大会　（　１回、　２４名） ■ 夏休みわんぱくじゅく　（　１回、　１８名） ■ 冬休みわんぱくじゅく　（　１回、　１８名） ■ フラワーアレンジメント教室（１２回、延べ　８４名） ■ ペーパークラフト教室　（　４回、延べ　３６名） ■ 自主運営講座 ウクレレ演奏レッスン　（４回、延べ２６名） 生け花講座　（４回、延べ２５名） 草木染め講座　（４回、延べ２１名） 【事業費】 ２０６，８０２円（講師等謝礼　他）		
成果		各講座を通じて、意識・知識・技術を習得しながら多くの方と交流し、健康で心豊かに、より充実した生活を送るための機会を創出できた。		
評価と方向性		いけばな講座、フラワーアレンジメント教室、自主運営講座は受講者が主導で開催しており、意欲も高く継続が望まれる。どのような講座が必要なのか町民の意見を把握することが必要であり、公民館運営審議会委員の意見も伺いながら、講座を企画（実施）していく。		

事業名	31	スポネットたっこへの支援	事業の評価	◎
評価基準	(5)	スポーツの推進	総合評価	拡充

概要	町民のスポーツや運動、健康づくりに関する活動の活性化、及びクラブの組織強化を図ることを目的に、総合型地域スポーツクラブ「スポネットたっこ」を支援する。
実績	■ 実施内容 《会議等》　理事会（４／９）、総会（４／２３）、 中間監査（１０／２９）、決算監査（３／２７） 《イベント等》◎グルメマラソン（８／２５） ◎フットサル大会（１／１９） ◎ソフトバレー大会（２／１６） ◎スノーフェスタ（２／１５） 《競技スポーツ》 ◎三戸郡総合体育大会(6/2､8～9) ◎北奥羽総合体育大会(7/7～8/4) ◎県民駅伝競走大会(9/1) ◎学童親善野球大会(9/14､15) ◎山口杯県南卓球大会(10/13) ◎ﾅｲﾀｰ卓球ﾘｰｸﾞ戦(1/14～) ◎各協会ｽﾎﾟｰﾂ教室（相撲､柔道､ｿﾌﾄﾃﾆｽ､野球､ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ等） 《生涯スポーツ》 ◎かけっこ教室（毎週水曜日､計 26 回､延べ 596 名） ◎ボール遊び教室（毎週金曜日､計 28 回､延べ 611 名）
成果	三戸郡総合体育大会や県民駅伝などの競技スポーツへの参加や、グルメマラソン、フットサル大会などのスポーツイベントや各運動教室の開催など、スポーツに親しむ機会を創出し、町民の健康づくりに寄与することができた。
評価と方向性	支援により組織の強化は図られたが、人材の育成と、各種教室等事業の充実を含めたクラブ運営の改善が課題である。 今後も、町の社会体育との連携を図りながら、町民のスポーツの振興と、競技スポーツの普及発展を図る。

事業名	32	水泳教室	事業の評価	◎
評価基準	(5)	スポーツの推進	総合評価	継続
概要	町内の児童生徒（小学４～６年生）を対象に、正しい水泳の基礎を身につけ、夏のスポーツに親しむために開催する。			
実績	【事業内容】 ■開 催 日　令和６年８月５日～７日 ■開催場所　町民プール ■参 加 者　延べ３４名 ■講　　師　ヤクルト八戸スイミングスクールコーチ　２名 【事業費】 ７２，０００円（講師派遣手数料）			
成果	水泳の基本的泳法を身につけるとともに、夏場の体力づくりと、青少年健全育成の一助となった。			
評価と方向性	上達したいという子どもたちの意欲が感じられるので、今後も継続していく。そのためにも開催日の調整や雨天時の対策を講じる必要がある。			

事業名	33	県民駅伝競走大会補助事業	事業の評価	◎
評価基準	(5)	スポーツの推進	総合評価	継続
概要		県が主催し、青森県全市町村が参加して行われる青森県民駅伝競争大会への参加活動に対して補助金を交付する。大会参加にあたり、実行委員会を組織し、強化練習や試走等を実施する。		
実績		本大会出場に係る実行委員会への、選手の育成・強化を目的とした夏季強化練習会および冬季強化練習会を開催した。 【実施内容】 夏季強化練習会 ■期　間　令和６年７月３１日～８月３１日 全１８回　延べ２６８名参加 冬季強化練習会 ■期　間　令和７年３月１０日～２３日 全４回　延べ６０名参加 大会当日 ９月１日（日）　町の部１２位（総合２５位） ■事業費　５０８，４９４円（ユニフォーム、旅費、消耗品等）		
成果		強化練習を実施したことにより、チームとしての連帯感を築くことができ、大会に臨むことができた。		
評価と方向性		この大会は、町民の一体感を盛り上げ、地域の活性化につながっていることから、今後も大会が続く限り事業を継続する。 なお、これまでの最高成績が、町の部９位であることから、町の部８位以上を目指す。		

事業名	34	健康ウォーク	事業の評価	○
評価基準	(5)	スポーツの推進	総合評価	継続
概要	４つの町民運動の「４．健康な地域づくり」の活動として健康づくりを目的に実施するものであり、町内外の春、夏、秋の季節ごとの風景を楽しみ、その地域の味覚なども楽しみながら健康づくりにつなげる。			
実績	【事業内容】 ■ 開催日　①５月６日　②７月１６日　③９月２３日 ④１０月１４日　計４回 ■ 会　場　①十和田市／奥入瀬渓流周辺 ②青森市／酸ヶ湯温泉周辺※熊被害の影響により中止 ③一戸町／奥中山高原周辺 ④黒石市／中野もみじ山周辺 ※各ルートに「はっするコース（長）」、「おきがるコース（短）」を設定 ■ 参加者　延べ７５名 ■ 主　管　教育課、地域包括支援課 ■ 協　力　スポーツ推進委員 ■ 事業費　９２，６７６円（参加記念品）			
成果	より多くの方に参加しもらうため、景色が楽しめるコース設定とした。地元の食材を使用したお弁当を手配するなど、参加者がウォーキング後も楽しめるよう工夫し、参加意欲を向上させながら、健康増進を図ることができた。			
評価と方向性	季節に応じた場所の選定、短い距離のコースを設定、昼食や自由時間を設けるなど、参加者が気軽に楽しく参加できる内容の充実に努めた。 移動に町バスを使うため参加できる人数の上限が少なく、参加者も固定化していることから、より多くの方が気軽に参加できる仕組みを検討する。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>35</td><td>図書館運営事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">継続</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>社会教育推進のための基盤整備</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">町民の生涯学習の基礎となる資料･情報提供を目的として、町民生活の発展・向上に寄与するため、図書資料等を充実させるとともに、町民の参加と協力のもとに積極的に図書館活動を展開する。
特に乳幼児期からの読書習慣を定着させることを重視し、児童図書を充実させ、学校･各施設と連携し児童サービスを実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">■ 入館者数　　５，３６７人（前年度　５，６５５人）
■ 個人貸出冊数　１４，６９６冊（前年度１４，６３６冊）
■ 人口１００人当たり個人貸出冊数
３１３．８冊（前年度　３０５．８冊）
■ 購入図書　７３０冊（児童書２６１冊、一般書４６９冊）
■ 事業費　５，６０７，５８３円（会計年度職員給料等含）
□ 図書館開館３０周年記念貸出用バッグ２５０枚プレゼント
□ 読書バリアフリーコーナー設置、ブックカート設置
□「大人のための絵本教室」開催
■ 学校・各施設等との連携事業と図書館行事
学校・施設図書担当者会議、中学生職場体験受入、団体貸出、小中学校図書館支援、各課共催図書展示、読書マラソン等</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">・本を５冊借りた方先着２５０名に図書館開館３０周年記念バッグをプレゼントした令和６年度は、１００人当たり個人貸出冊数が前年度より増加し、多くの図書館利用があった。
・県内外図書館への貸出が増加した（４８冊、前年度２６冊）。
・毎年実施していた田子小２年生の図書館見学が未実施となった。後日、同学年の調べ学習用の図書貸出の依頼があり、テーマの図書が当館には少なかったため、他館から借用しまとめて貸出したところ、先生による図書館利用方法の理解が深まったのを感じた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">・全ての利用者とよくコミュニケーションを取り、その中できめ細やかに利用者の要望に応えることができている。
・今後も各施設・学校・関係機関等と連携協力しながら図書館事業を実施し、また、小学校・中学校の学校図書館支援を継続する。</td></tr>
</table>

事業名	36	図書館子育て支援事業	事業の評価	◎
評価基準	(1)	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	総合評価	継続
概要	田子町に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、絵本や子育てに関する図書等で赤ちゃんの健やかな成長と子育てを支援する。 赤ちゃん（４ヶ月児）と保護者が絵本を介して心ふれあう時間を持つきっかけをつくることを目的とした「ブックスタート」を実施する。 ３歳児に絵本をプレゼントする「セカンドブック」を実施することで、絵本による子育て支援を継続する。 同時に図書館利用を促し、貸出券を作成していただいている。 図書館内の子育てに関する図書を集めた「子育て支援コーナー」の充実を図る。			
実績	■ ブックスタート実施数　１３組（前年度１９組） ■ ブックスタートパック等購入費　３７，８４０円 ■ セカンドブック実施数　１６組（前年度２４組） ■ セカンドブック絵本等購入費　５５，３３０円			
成果	絵本をプレゼントする「ブックスタート」「セカンドブック」は、保護者に大変喜ばれている。 親子で図書館に来館されたときは声をかけ、「子育て支援コーナー」やおすすめ絵本がある「子どもコーナー」を紹介すると、そこから本を選び借りていく方が多い。			
評価と方向性	「ブックスタート」「セカンドブック」で配布する絵本や、子育て支援コーナーの図書の見直しを行いながら、今後もこれらの事業を継続実施する。			

事業名	37	田子神楽保存会への支援	事業の評価	◎
評価基準	(1)	文化財の保護・保存、公開・活用の推進	総合評価	継続
概要	青森県無形民俗文化財に指定されている「田子神楽」の保護、後継者育成を図ることを目的に発足した「田子神楽保存会」の事務局支援を行う。			
実績	【事務局支援】 ■ 出演対応（交渉） ■ 出演時随行 ■ 練習等活動支援 ■ 会計処理 ■ 総会等書類作成 【主 な 活 動】 ■ 田子神楽養成講座（１３回、延べ３３２名） ■ 田子小・中学校児童・生徒に対する神楽指導 ■ 主な公演 町内イベント（にんにく収穫祭､敬老会､にんにくとべごまつり） 照獅子神楽祭（6/29 デーリー東北ホール） 三陸国際芸能まつり（10/13 八戸ﾎﾟｰﾀﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑはっち） ふるさと産業フェスタ（10/20YS アリーナ八戸） 田子町文化協会芸能発表会（2/2 タプコピアンプラザ） 熊野権現様お年取り祭（2/15 八坂神社）			
成果	神楽養成講座等、町内の児童・生徒に指導しながら、師匠から技芸部員への継承も行われており、非常に良い流れ（仕組み）で、保存・伝承（後継者育成）が行われている。 【技芸部員数】 ２６名			
評価と方向性	今後も町内外からの出演依頼が予想され、スムーズに行うためにも事務局支援が必要。師匠が高齢なことから、若手技芸部員へ演目伝承の推進を図る必要がある。			

事業名	38	田子神楽養成講座	事業の評価	◎
評価基準	(2)	伝統芸能・技術の継承	総合評価	継続
概要	小学生、中学生、高校生を対象に田子神楽の養成講座を開講し、町の貴重な無形文化財である田子神楽の保存・伝承と、町の歴史や文化への理解を深め愛郷心の醸成を図る。			
実績	【事業内容】 ■ 開催回数　１３回　※成果発表会（１回）を含む。 ■ 受 講 生　３５名（延べ３３２名） ※幼児２名、小学生２２名、中学生７名、高校生５名 ■ 事 業 費　１５０，０００円			
成果	子どもの頃から田子神楽に馴れ親しむことより、郷土愛が育まれている。さらに、小学生から高校生までの幅広い異年齢集団によるコミュニティが形成されており、子ども達の健やかな成長を促している。このコミュニティは、大人になってからも継続しており、Ｕターン等により帰郷した若者の地域活動の場となっている。			
評価と方向性	習得するには時間を要するため事業の継続が望まれる。			

事業名	39	文化財パトロール事業	事業の評価	◎
評価基準	(1)	文化財の保護・保存、公開・活用の推進	総合評価	継続
概要	町内に所在する青森県指定文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。パトロールの実施は、青森県文化財保護指導員と担当職員が行う。			
実績	【事業内容】 ■ 実 施 日　令和６年１１月１５日 ■ 主な業務　①土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 ②文化財、埋蔵文化財の現状を、調査・情報収集により把握 ■ 実施件数　１２件（埋蔵文化財８件、城館跡４件）			
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。			
評価と方向性	文化財の保護は必要な事業であり、今後も継続して指導を実施する必要がある。			

事業名	40	文化財保護活動事業	事業の評価	◎
評価基準	(1)	文化財の保護・保存、公開・活用の推進	総合評価	継続
概要	文化財の保護・保存・活用を図る。 ■ 文化財保護審議会（５名）（随時実施） ■ 文化財巡回指導事業（年１回） ■ 郷土芸能魅力発信事業 ■ 天然記念物樹木診断			
実績	■ 文化財巡回事業 日時：令和７年１月２６日 内容：文化財防火デーの巡回時に、確認・指導を行う。 ■ 郷土芸能魅力発信事業 郷土芸能の振興を目的に、保存会による県外での発信活動に係る経費に対し補助金を交付する。 交付団体：田子町ナニャドヤラ保存会 交付金額：５００，０００円（交付上限） 活動実績：なかの東北絆まつり（令和６年１０月２６～２７日） ■ 天然記念物樹木診断 蛇王の松の枯死を教訓に、天然記念物指定している樹木の健全度を毎年度診断し、保全につなげる。 実施対象：山の神三本松（嘉沢向地内） 委託業者：釜淵造園建設㈱ 委託料：６８，７５０円 診断結果：概ね健全な状態だが、周辺の杉を伐採し、より日照を確保した方が望ましい。			
成果	巡回事業や樹木診断の実施により、文化財の保全に必要な現状の把握をすることができた。 また、郷土芸能魅力発信事業により、町の郷土芸能の振興と保存会の士気向上を図ることができた。			
評価と方向性	文化財の保護や、郷土芸能の振興に必要な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。			

<table>
<tr><td>事業名</td><td>41</td><td>学校給食運営事業</td><td>事業の評価</td><td>◎</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価基準</td><td>(1)</td><td>食育の推進</td><td rowspan="3">総合評価</td><td rowspan="3">拡充</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>安全・安心な給食の提供</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">概要</td><td colspan="3">給食の提供について、各学校との連携を図り、郷土食、伝統食などに鑑み、栄養バランスを考慮した、安全・安心な給食の提供と食育の推進に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="3">①　給食センター運営委員会及び学校給食担当者会議　各１回
②　食物アレルギーを有する児童生徒への対応　…　対象７名
③　食に関する出前授業の実施（町内小中学校）…　１２回
④　地元産食材の活用、郷土食の提供等田子町の食に関する理解を深める給食の提供
・田子町産の食材使用率…　１７．７％
・青森県産の食材使用率…　４４．１％
⑤　「給食だより」に『朝ごはんからはじまる、すてきな１日』として連載し、早寝早起きをして朝ごはんをしっかり食べることが大事であることを一番の目標として、季節にあった食事や夏を元気に過ごす食事等を紹介</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td colspan="3">給食センター運営委員会及び学校給食担当者会議の開催により、センター運営及び食育の推進について関係者の相互理解が図られた。
給食指導や食育（出前）授業では、『低学年には食物繊維の大切さ、中学年には良い食生活・運動・休養の大切さを、高学年にはごはんの良さについて動画を見ながら自ら考える』などを行い、将来における食に関する意識を、具体的に考える事ができるような指導を目指し、子供たちの反応から、意識が少し変わったと実感出来た。
また、「給食だより」で、季節にあった食事や夏を元気に過ごす食事の紹介等を行ったほか、児童生徒のほか保護者への食に対する意識づけを行った。また、地元産食材の活用、郷土食の提供等田子町の食に関する理解を深める給食の提供と、子どもたちによる給食時間の放送により、安全・安心な給食、地元食材の活用など周知することに努め、地域の食に関する理解を深めることができた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価と方向性</td><td colspan="3">旬の食材、地元産の食材を活用した栄養バランスの優れた献立にするように努める。健康を考え、食への感謝の心と偏食することなく何でも食べることの大切さの指導を進めていく。また、子どもたちと保護者が一緒になっての食育活動に取り組む必要がある。</td></tr>
</table>

事業名	42	給食センター調理等委託事業	事業の評価	◎
評価基準	(2)	安全・安心な給食の提供	総合評価	継続
概要		調理業務の民間委託により、町の労務管理の軽減、従事者の地元雇用が図られ、また、委託業者による衛生管理面の指導が徹底され、町管理業務の軽減が図られる。		
実績		食材の検収（受領）、下処理から調理までの食材の流れを図面化し、作業動線図に従った作業工程により、安全かつスムーズな調理業務等がなされた。そのほか、委託業者自ら衛生管理の学習会を毎月行った。 また、センター施設の良好な環境維持に努めた。 ■委託業者…　三八五フーズ株式会社 ■給食日数…　１９８日／年 ■食　　数…　５０，６６２食（園児・児童生徒・教職員等） ■委 託 料…　２９，３９６，４００円		
成果		衛生管理学習会の実施、調理工程等業務の改善が継続して実施され、衛生的で安全な給食が提供できた。		
評価と方向性		衛生管理を徹底し、今後も「安全・安心な給食」の提供に努める。		

事業名	43	給食センター改修等事業	事業の評価	◎
評価基準	(2)	安全・安心な給食の提供	総合評価	継続
概要	現在の給食センターは、建築から２７年が経過し、設備等の老朽化も見られるため、衛生管理に配慮した改修及びセンター設備機器等の更新事業に取り組む。			
実績	■ 設備機器等購入　７，８９５，８００円 ・連続式ガスフライヤー　１台　…　７，３１５，０００円 ・包丁・まな板殺菌庫　１台　…　３８５，０００円 ・移動台　２台　…　１９５，８００円 ■ 設備修繕　１，３５８，６９８円 ・自動ドア修繕(調理室-下処理室間)　…　５５３，２７８円 ・連続式ガスフライヤー修繕　…　２２３，８５０円 ・フードスライサー修繕(２回)　…　１４４，７６０円 ・照明器具交換(調理室２ヶ所、洗浄室１ヶ所)　…　１２０，４５０円 ・下処理室エアコン修繕　…　９９，９９０円 ・ライスボイラー修繕　…　５３，３５０円 ・スチームコンベクションオーブンカートリッジ交換　…　４６，３１０円 ・その他小修繕６件　…　１１６，７１０円			
成果	給食センターの設備機器等の必要な更新および設備修繕を実施し、施設の環境整備が良好となったことにより、より効率的で安全な給食センター運営の充実が図られた。特に、連続式ガスフライヤーについては、ワイヤーの劣化や温度計故障が起きていたため、更新後は安全・安心に調理業務を行うことができた。			
評価と方向性	給食センター施設の毎日の点検・安全運転及び衛生管理の徹底が重要である。引き続き、安全・安心な給食を子どもたちに届けるため、維持管理の徹底と安全性、衛生面、効率性を考慮した設備機器等の計画的な更新及び施設整備を進めていく。			

◆　教育委員会活動の状況

1　教育委員会委員構成

職　　名	氏　　名	任　　期
教　育　長	尾　形　真　一　朗	R4. 4. 2　～　R7. 4. 2
教　育　委　員 （教育長職務代理者）	一　戸　宗　雄	H27. 4. 1　～　R9. 3.31
教　育　委　員	川　上　洋　行	H29. 6.23　～　R10. 6.22
教　育　委　員	遠　澤　千登勢	R 3. 6.23　～　R7. 6.22
教　育　委　員	藤　村　一　豊	R 4. 3.17　～　R8. 3.16

2　教育委員会の活動概要

教育委員は、定例の教育委員会議のほかに、各種会議や研修会に参加し、職務遂行に必要な知識の習得に努め、委員としての幅広い見識（識見）を養うほか、学校行事等に出席することで教育現場の状況を把握し理解を深めている。

①　学校訪問
R6.10.21　学校及び教育関連施設の訪問（授業参観、給食体験）

②　会議・研修会

期　日	会　議　名　称　等	場　所	出席委員
R6.5.17	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会、市町村教育委員会教育委員研修会	青森市	２名
R6.5.23	三戸町及び田子町教育研究協議会委員会議	三戸町	４名
R6.6.19	三戸郡教育振興会理事会	南部町	１名
R6.7.11 ～7.12	三戸郡教育振興会臨時総会並びに研修会	山形県 山形市	３名
R6.10.11	三戸郡町村教育委員秋季研修会	新郷村	３名
R7.2.20	三戸郡教育振興会定期総会	五戸町	４名
R7.2.26	三戸町及び田子町教育研究協議会委員会議	三戸町	４名

③　各種行事等

期日	行事名	期日	行事名
R6.4.6	田子小学校入学式	R6.10.2	小中合同芸術鑑賞会
R6.4.6	田子中学校入学式	R6.10.13	田子中学校文化祭
R6.4.18	田子町学校教育大会	R6.11.24	田子小学校 150 周年記念式典
R6.5.18	田子小学校運動会	R6.12.6	小中連携部会　場所:田子小
R6.5.29	田子中学校体育祭	R6.12.7	田子幼稚園生活発表会
R6.6.10	田子中学校教育講演会	R7.1.12	二十歳を祝う会
R6.6.12	三八中体夏季大会壮行式	R7.1.30	中学生海外派遣研修報告会
R6.6.21	小中連携部会　場所:田子中	R7.2.23	町文化賞・スポーツ賞表彰式
R6.9.11	三八中体壮行式	R7.3.9	田子中学校卒業式
R6.9.21	田子幼稚園親子運動会	R7.3.18	田子幼稚園卒園式
R6.9.28	田子小学校学習発表会	R7.3.19	田子小学校卒業式

３　教育委員会会議（月１回の定例会）

▼　第　４　回　　令和６年４月１８日（木）

議　　事	６月議会提案「田子町教育委員会委員の任命について」

▼　第　５　回　　令和６年５月２０日（月）

報告第２号	田子町文化財保護審議会北田騰委員の解嘱について
議　　事	次代の子どもの教育環境を考える懇話会について

▼　第　６　回　　令和６年６月２８日（金）

議案第１２号	学区外（区域外）就学の承認について
議案第１３号	パワー・ハラスメントの防止等に関する要綱等の一部改正について
議案第１４号	セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する要綱等の一部改正について

議　　事	・学校閉庁日について ・田子町立小・中学校における働き方改革プラン（案）について ・田子町公営塾（夏期講習、受験対策講座）について ・たっこ塾 2024 SUMMER について ・次代の子どもの教育環境を考える懇話会委員について

▼　第　７　回　　令和６年７月２６日（金）

議案第１５号	学区外・区域外就学解除について
議　　事	・次代の子どもの教育環境を考える懇話会委員について ・令和７年度使用教科用図書採択について

▼　第　８　回　　令和６年８月２６日（月）

議案第１６号	区域外就学の承認について
議　　事	・令和６年度一般会計第４号補正予算要求（９月議会提案）について ・田子町学校給食センター運営委員会の審議内容について

▼　第　９　回　　令和６年９月２７日（金）

議案第１７号	田子町学校給食費負担金徴収に関する規則の一部改正について

▼　第１０回　　令和６年１０月２１日（月）

議案第１８号	田子町奨学資金貸付規則の一部改正ついて

▼　第１１回　　令和６年１１月２９日（金）

議案第１９号	区域外就学の承認について
議案第２０号	田子町教育委員会の事務の点検及び評価について
議案第２１号	田子町交流籍制度実施要項の制定について
議　　事	令和６年度一般会計第５号補正予算要求（１２月議会提案）について

▼　第１２回　　令和６年１２月１８日（水）

議案第２２号	学区外（区域外）就学の承認について
議　　事	令和７年度一般会計当初予算要求（３月議会提案）について

◆　教育委員会活動の状況

▼　第　１　回　　令和７年１月２４日（金）

議案第１号	令和７年度田子町奨学資金奨学生の決定について
議案第２号	区域外就学の承認について
議案第３号	教育財産の用途廃止について

▼　第　２　回　　令和７年２月２６日（水）

議案第４号	田子町立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部改正について
議案第５号	田子町立小学校及び中学校の管理運営に関する規程の一部改正について
議　　事	・令和７年度県費負担教職員の人事について ・令和７年度要保護及び準要保護児童生徒の学用品費に係る支給要領について ・総合教育会議案件について

▼　第　３　回　　令和７年３月２５日（火）

議案第６号	田子町社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正について
議案第７号	田子町文化財保護審議委員の委嘱について
議案第８号	令和７年度田子町教育施策について
議案第９号	田子町立田子幼稚園長の任命について
議　　事	・タブレット端末更新に係る各種整備計画について ・中学校部活動地域移行に係る検討・実施内容について ・区域外就学について

令和７年度教育委員会の事務の点検及び評価報告書　－令和６年度の実績－

令和７年１１月　初版発行
著作権所有　田子町教育委員会

〒０３９‐０２０１
青森県三戸郡田子町大字田子字柏木田１６９番地
ＴＥＬ　０１７９（２０）７０７２　ＦＡＸ　０１７９（２０）７０７５